

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 12 日

| 所属 | 基盤教育機構 | 職名 | 専任講師 | 氏名 | 東条 美和 |
|---|---------------------------------------|-------------------|---|----------------------|-------|
| 研究課題 | 会計基準の国際的統合化と法人税法上の課題 | | | | |
| 研究キーワード | 法人税法、IFRS、会計、 税務会計論、公正処理基 準、租税法 | 当年度計画に対す る達成度 | 3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を 達成したが、一部に遅れ等が発生した | | |
| 関連する SDGs項目 | 1. 貧困をなくそう | 8. 働きがいも経済成長 も | 9. 産業と技術革新の基 盤をつくろう | 10. 人や国の不平等をな くそう | |
| <p>1. 研究成果の概要</p> <ul style="list-style-type: none">『法人税法 22 条 4 項における公正処理基準の内容を、裁判例を通じて精査していく。』 大学院講義に合わせ、判例の読み込みを進めている。 公正処理基準について 8 件の判例を新規で抽出し、内容をまとめている。『公正処理基準の内容は、一般法人のみならず非営利法人の実務、簿記等の会計実務にも影響を与えることが指摘されており・・・改正の経緯を検討することで新たな問題点も浮き彫りにしていきたい。』 雑誌「公益・一般法人」において、税制改正が与える影響について検討した論点を公表した。 具体的には、法人区分変更時の課税、相続・贈与一体課税へ向けて、納税のための環境整備について言及した。特にインボイス制度については移行期の負担を軽減する措置が設けられていること、その情報へのアクセスの必要性を指摘した。 <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>【論文 (査読あり)】</p> <p>【著書・論文 (査読なし)】</p> <ul style="list-style-type: none">「令和 5 年度税制改正が公益・一般法人に与える影響」、東条美和、単著、公益・一般法人、No.1072、 38-44 頁、2023 年 6 月 15 日 <p>【学会発表等】</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">第一法規株式会社「税務キーワード」について、昨年に引き続き約 150 語の執筆を担当した。 <p>3. 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none">判例分析の精度を上げるため、関連書籍の購入や文具代に使用した。資料が多数になったため、整理作業のためのファイル代等に使用した。学会参加のための旅費に使用した。 <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <ul style="list-style-type: none">税務会計研究学会の次年度幹事に内定した。 <p>(本文は2ページ以内にまとめること)</p> | | | | | |